

共生

2015年7月
Vol.02

社会福祉法人
札幌慈啓会 広報誌

法人広報誌「共生」の 発行にあたって



社会福祉法人 札幌慈啓会
理事長 太田 眞琴

法人広報誌の発行にあたって一言
ご挨拶を申し上げます。

当法人は、大正14年に前身の老人福祉施設「札幌養老院」を開設して以来90周年を今年度迎えることとなりました。

今後も引き続き、この90年間に培われてきたノウハウを生かしつつも、福祉の原点を見据え、法人の理念である「共生（ともいき）」の精神に基づき「保健・医療・福祉」のトータルサポートに努め、更に昨年度の12月1日からは「啓明ともいき保育園」を開園し、高齢者福祉に加え新たに児童福祉の分野へも事業を展開し、90年の歴史に恥じることはないよう、今後の法人運営に努めてまいる所存でございます。

この度、発行させていただきました広報誌においても、現在当法人が行っている事業の一部をご紹介させていただくとともに、少しでも皆様方に、当法人の今をご理解していただけるような記事を満載した内容とさせていただきます。

今後とも、当法人の運営に際しましては、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

札幌慈啓会のあゆみ

- 大正14年10月 札幌養老院を開設
- 昭和9年 救護施設として認可
- 昭和23年11月 本院付属病院開設
- 昭和27年5月 社会福祉法人 札幌養老院へ組織変更
- 昭和41年2月 養護老人ホーム・特別養護老人ホーム 新築工事完成
- 昭和42年6月 附属病院新築工事完成
- 昭和43年9月 昭和天皇・皇后陛下行幸
- 昭和44年3月 社会福祉法人 札幌慈啓会に改称
- 昭和45年9月 軽費老人ホーム 札幌市菊寿園の経営受託
- 昭和46年6月 財団法人 北海道老年医学研究振興会設立
- 昭和47年1月 特別養護老人ホーム 札幌市稻寿園の経営受託
- 昭和50年3月 軽費老人ホーム 札幌市拓寿園の経営受託
- 昭和60年3月 慈啓会養護老人ホーム移転改築工事完成
- 昭和60年12月 慈啓会特別養護老人ホーム全面改築完成
- 昭和62年8月 皇太子殿下（今上天皇）妃殿下行幸
- 平成6年3月 札幌市稻寿園全面改築完成
- 平成6年5月 札幌市稻寿園デイサービス・ホームヘルプサービス事業受託
- 平成10年4月 デイサービス・ヘルパーステーション開設
- 平成10年9月 慈啓会特別養護老人ホーム増築完成
- 平成10年11月 慈啓会老人保健施設・デイケアサービス開設
- 平成10年11月 慈啓会病院管理棟増築工事完成
- 平成12年11月 慈啓会ふれあいの郷開設（養護老人ホーム・生活支援ハウス・地域交流センター）
- 平成16年3月 慈啓会特別養護老人ホーム本館改築工事（小規模生活単位型）完成
- 平成18年4月 札幌市中央区第2地域包括支援センター開設
- 平成18年12月 慈啓会病院増改築完成
- 平成25年4月 札幌市中央区第3地域包括支援センター開設
- 平成26年12月 啓明ともいき保育園開設

啓明ともいき保育園

特別養護老人ホーム訪問

開園から3ヶ月が過ぎて子どもたちの生活が落ち着いた頃、世代間交流の一環として特別養護老人ホームへ訪問することを計画しました。子どもたちに伝えたいところ、得意な踊りと歌を発表したいと気持ちが盛り上がりましたが、一番喜んだのはバスに乗れるということでした。

当日、迎えにきてくれたバスの中では、啓会までの坂道に差し掛かると「うわーっすごいさかだね」「やまのなかにあるの？もうつくの？」と興奮気味の子どもたち。到着

後、飾ってある折り紙やいろいろな作品を見て「だれがつくったの？」「かわいい！きれいだね！」と、保育園以外の施設や環境に興味津々でした。

利用者に会うと恥ずかしそうにしていますが、いざ発表となると真剣な表情の子どもたち。お願いしていた園歌が直前に完成し、この日がお披露目となりました。園児にとって身近な存在である「合掌する童子の像（愛称・びっばらちゃん）」をイメージした【びっばらびん びっばらりん♪】の歌詞とリズムカルな曲調が軽快で、聴いてくださった方にも楽しんでいただけたようです。よさこいソーランは元気に力強く踊り、たくさんの手拍子に後押しされ、この日が最高のよさこいソーランでした。帰る際には、たくさんの方と握手をしてちょっぴり恥かしそうでしたが、「みてくれてありがとう」「またくるね」と、しっかりと挨拶もできました。

帰りのバスの中では利用者の方が見えなく

なるまで手を振り、「たのしかった！」「おりこうだね。なんさい？つてきかれた！」と、またまた興奮気味の子どもたち。そして「おなかすいた〜」と、ホッとした様子が印象的でした。

接し方に最初は戸惑っていた子どもたちですが、帰る頃には自然に握手の手が差し出せるようになり、いろいろな人と接することで、慈しむ気持ちは子どもたちの成長にとっても大切なことです。これからも機会あるごとに交流を深めていきたいと思えます。

（啓明ともいき保育園 副園長 塚田）



開設90周年記念

第22回札幌慈啓会福祉・病院学会について

～「共生」の理念とともに未来への新たな挑戦～

来る10月17日(土曜日)、札幌市社会福祉総合センターで標記記念学会を開催することとなりました。

この学会は、法人職員が日々の仕事の中で学んだことや調査・研究した成果を発表する場として、2年に一度開催しております。今回は、いつもの発表に加え、伊福部達先生をお招きし、講演いただくこととなりました。先生は、福祉工学・福祉技術研究で大変著名な方です。

他に慈啓会病院の川人由美子内科部長による公開講座「高齢者の糖尿病～当院の取り組みとチーム医療について～」も予定しております。

なお、研究発表予定の16演題は下表のとおりです。現在、チラシ・ポスターを準備しておりますが、出来上がり次第、関係者の皆様にご案内いたしますので、よろしくお願ひします。(総合相談室 道林)

記念講演

福祉工学への招待

～高齢社会を支えるITとロボット～



講師 **伊福部 達**

東京大学名誉教授(東京大学 高齢社会総合研究機構)
北海道大学名誉教授、工学博士

第22回札幌慈啓会福祉・病院学会 演題一覧

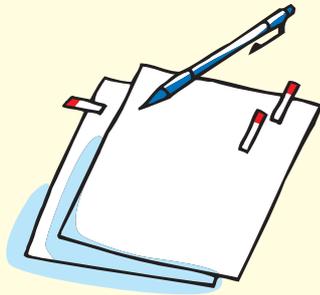
| | 所属・役職 | 氏名 | 演題 |
|---|---|----------------|--|
| ① | 慈啓会養護老人ホーム・生活相談員 | 柿沼 美香 | 養護老人ホーム入居者への余暇活動支援の取組 ～手芸サークル活動を通して～ |
| ② | 慈啓会特別養護老人ホーム・介護係長 | 磯貝 啓一 | 若年性認知症ケアの取り組み ～ショートステイでの関わりを通して～ |
| ③ | 慈啓会特別養護老人ホーム・介護指導員 | 吉田 祐子 | 「伝える」こと、「教える」こと、「育む」こと、「沿う」こと ～職員が一つになって～ |
| ④ | 慈啓会特別養護老人ホーム・在宅福祉課長 | 干場 有理子 | 訪問介護における「利用者本位」のサービスとは ～制度外サービスからみえてきたもの～ |
| ⑤ | 慈啓会病院・看護室長 | 奥村 美貴子 | チーム医療により食事摂取の自立を回復し得た症例 |
| ⑥ | 慈啓会病院・相談係長 | 篠田 友輔 | 一人暮らし高齢者の退院支援 ～退院した患者様の事例を通して～ |
| ⑦ | 札幌医科大学医学部消化器・免疫・ リウマチ内科 講師 | 能正 勝彦 | わが国で増加する高齢者大腸癌 ～臨床・分子病理学的特徴について～ |
| ⑧ | 慈啓会老人保健施設・看護師 | 渋谷 千波 | 事故報告内容の見直しとその後 |
| ⑨ | 慈啓会老人保健施設・生活支援相談員 | 角田 絵美 | 在宅サービスにおけるサービス向上のためのアプローチ |
| ⑩ | 啓明ともいき保育園・保育士 | 釣 奈津美 | より良い保育環境づくりを目指して ～開園から現在までの保育園の取り組み～ |
| ⑪ | 慈啓会特別養護老人ホーム・介護部長 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園・介護課長 | 羽山 政弘 佐藤 雅彦 | 介護職員交換研修から (※稲寿園・慈啓会特養共同企画) |
| ⑫ | 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園・生活相談員 | 藤澤 和之 | 平成27年介護保険改正による札幌市稲寿園の変化 ～平成26年度と比較して(中間報告)～ |
| ⑬ | 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム・生活相談員 | 小林 智巳 | 地域に根差した施設を目指して～地域交流センターの活用～ |
| ⑭ | 札幌市菊寿園・生活相談員 | 志和 恵 | 菊寿園の今後の課題～地域における菊寿園の役割～ |
| ⑮ | 札幌市中央区第2地域包括支援センター・ 介護支援専門員 | 山崎 幸雄 | 地域包括ケアにおける地域包括支援センターの役割 ～地域と共に支援を行った事例から～ |
| ⑯ | 札幌市中央区第3地域包括支援センター・ 主任介護支援専門員 | 熊倉 克尚 | 地域にあったネットワークづくりを目指して ～曙地区高齢者見守りサポーターの活動と課題～ |

平成 26 年度 法人決算報告

(単位：千円)

貸借対照表

(平成 27 年 3 月 31 日現在)



| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|---------------|-----------|--------------------|-----------|
| 勘定科目 | 当年度末 | 勘定科目 | 当年度末 |
| 流動資産 | 1,132,019 | 流動負債 | 796,120 |
| 現金預金 | 381,739 | 短期運営資金借入金 | 20,000 |
| 有価証券 | 10,000 | 事業未払金 | 287,157 |
| 事業未収金 | 704,619 | その他の未払金 | 0 |
| 未収金 | 3,959 | 1年以内返済予定設備資金借入金 | 207,054 |
| 未収補助金 | 16,237 | 1年以内返済予定長期運営資金借入金 | 42,360 |
| 未収収益 | 1,748 | 1年以内返済予定リース債務 | 26,797 |
| 医薬品 | 1,554 | 1年以内返済予定長期未払金 | 967 |
| 診療・療養費等材料 | 1,370 | 未払費用 | 42,095 |
| 立替金 | 2,680 | 預り金 | 383 |
| 前払金 | 2,127 | 職員預り金 | 35,119 |
| 前払費用 | 5,786 | 前受収益 | 18 |
| 仮払金 | 164 | 仮受金 | 9,263 |
| その他の流動資産 | 30 | 賞与引当金 | 124,903 |
| 固定資産 | 4,997,566 | その他の流動負債 | 0 |
| 基本財産 | 4,094,320 | 固定負債 | 2,045,634 |
| 土地 | 154,300 | 設備資金借入金 | 1,478,194 |
| 建物 | 3,940,020 | 長期運営資金借入金 | 104,800 |
| その他の固定資産 | 903,245 | リース債務 | 71,933 |
| 土地 | 20,100 | 退職給付引当金 | 390,060 |
| 建物 | 305,476 | 長期未払金 | 644 |
| 構築物 | 28,354 | その他の固定負債 | 0 |
| 機械及び装置 | 40,442 | 負債の部合計 | 2,841,754 |
| 車輦運搬具 | 2,602 | 純資産の部 | |
| 器具及び備品 | 120,821 | 基本金 | 604,016 |
| 建設仮勘定 | 0 | 国庫補助金等特別積立金 | 1,499,272 |
| 権利 | 106 | その他の積立金 | 100,624 |
| ソフトウェア | 1,454 | 施設整備等積立金 | 41,397 |
| 投資有価証券 | 42 | 人件費積立金 | 21,784 |
| 長期貸付金 | 4,920 | その他の積立金 | 37,443 |
| 措置施設繰越特定資産 | 17,500 | 次期繰越活動増減差額 | 1,083,918 |
| 施設整備等積立資産 | 37,954 | (うち当期活動増減差額) | 359,968 |
| 人件費積立資産 | 7,726 | | |
| その他積立資産 | 37,443 | 純資産の部合計 | 3,287,832 |
| その他の固定資産 | 278,300 | 負債及び純資産の部合計 | 6,129,586 |
| 資産の部合計 | 6,129,586 | | |

資金収支計算書

(自)平成 26 年 4 月 1 日 (至)平成 27 年 3 月 31 日 (単位：千円)

| 勘定科目 | | 金額 |
|----------------------------------|------------------|-----------|
| 事業活動による収支 | 収入 | |
| | 介護保険事業収入 | 1,932,268 |
| | 老人福祉事業収入 | 580,017 |
| | 保育事業収入 | 23,490 |
| | 医療事業収入 | 1,789,177 |
| | 借入金利息補助金収入 | 1,662 |
| | 経常経費寄附金収入 | 6,827 |
| | 受取利息配当金収入 | 208 |
| | その他の収入 | 24,303 |
| | 事業活動収入計(1) | 4,357,954 |
| 支出 | 人件費支出 | 2,826,367 |
| | 事業費支出 | 727,351 |
| | 事務費支出 | 546,294 |
| | 利用者負担軽減額 | 53,783 |
| | 支払利息支出 | 34,339 |
| | 流動資産評価損等による資金減少額 | 519 |
| 事業活動支出計(2) | 4,188,657 | |
| 事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2) | 169,296 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | |
| | 施設整備等補助金収入 | 121,036 |
| | 設備資金借入金収入 | 50,000 |
| | 施設整備等収入計(4) | 171,036 |
| | 支出 | |
| 設備資金借入金元金償還支出 | 206,866 | |
| 固定資産取得支出 | 311,798 | |
| ファイナンス・リース債務の返済支出 | 18,957 | |
| 施設整備等支出計(5) | 537,622 | |
| 施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5) | -366,586 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | |
| | 長期運営資金借入金収入 | 100,000 |
| | 長期貸付金回収収入 | 320 |
| | 積立資産取崩収入 | 4,731 |
| | その他の活動収入計(7) | 105,051 |
| | 支出 | |
| | 長期運営資金借入金元金償還支出 | 39,170 |
| | 長期貸付金支出 | 600 |
| 積立資産支出 | 8,400 | |
| その他の活動支出計(8) | 48,170 | |
| その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8) | 56,881 | |
| 当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9) | -140,407 | |
| 前期末支払資金残高(11) | 878,390 | |
| 当期末支払資金残高(10) + (11) | 737,982 | |

(注)詳細については、法人ホームページ及び札幌市ホームページをご参照下さい。

事業活動収支計算書

(自)平成 26 年 4 月 1 日 (至)平成 27 年 3 月 31 日 (単位：千円)

| 勘定科目 | | 金額 |
|--|---------------|-----------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | |
| | 介護保険事業収益 | 1,932,268 |
| | 老人福祉事業収益 | 580,017 |
| | 保育事業収益 | 23,490 |
| | 医療事業収益 | 1,789,177 |
| | 経常経費寄附金収益 | 6,827 |
| | その他の収益 | 34,108 |
| | サービス活動収益計(1) | 4,365,889 |
| | 費用 | |
| | 人件費 | 2,837,945 |
| 事業費 | 727,351 | |
| 事務費 | 546,294 | |
| 利用者負担軽減額 | 53,783 | |
| 減価償却費 | 263,811 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | -89,260 | |
| 徴収不能額 | 519 | |
| サービス活動費用計(2) | 4,340,446 | |
| サービス活動増減差額(3) = (1) - (2) | 25,442 | |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | |
| | 借入金利息補助金収益 | 1,662 |
| | 受取利息配当金収益 | 208 |
| | その他のサービス活動外収益 | 24,303 |
| | サービス活動外収益計(4) | 26,173 |
| | 費用 | |
| 支払利息 | 34,339 | |
| サービス活動外費用計(5) | 34,339 | |
| サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5) | -8,166 | |
| 経常増減差額(7) = (3) + (6) | 17,276 | |
| 特別増減の部 | 収益 | |
| | 施設整備等補助金収益 | 121,036 |
| | その他の特別収益 | 5,719 |
| | 特別収益計(8) | 126,755 |
| | 費用 | |
| | 固定資産売却損・処分損 | 5,836 |
| 国庫補助金等特別積立金積立額 | 121,036 | |
| 特別費用計(9) | 126,872 | |
| 特別増減差額(10) = (8) - (9) | -117 | |
| 当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10) | 17,159 | |
| 前期繰越活動増減差額(12) | 723,950 | |
| 当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12) | 741,109 | |
| 繰越活動増減差額の部 | | |
| 基本金取崩額(14) | 0 | |
| その他の積立金取崩額(15) | 351,209 | |
| その他の積立金積立額(16) | 8,400 | |
| 次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16) | 1,083,918 | |

16列マルチスライスCT装置に更新

平成27年1月末に慈啓会病院のCT装置を、今までの東芝製4列マルチスライスCT Asteionマルチから、東芝製16列マルチスライスCT Alexionに更新いたしました。

マルチスライスCTとは、X線検出器が複数に配列されたCTです。

以前の4列CTから、さらに検出器が多く配列された16列CTに更新されたことによって以下のようなことが可能になりました。

☆標準撮影（ルーチン撮影）で1mmスライスが可能に

16列にX線検出器が増えたことで、今まで当院の標準的な撮影で行っていた3~5mmスライスが、より薄い1mmスライスで撮影することができ、より小さな病変の描出が可能になりました。

☆高速撮影が可能に

従来の4列CTでは最大連続曝射時間の関係上、1mmスライスで広範囲を撮影することはできませんでしたが、16列CTではX線検出器が増えたことで1回転の撮影範囲が広がり、高速撮影が可能となり1度の検査で広範囲を1mmスライスで撮影することができます。これにより息止め時間を以前より短くすることができます。(1mmスライスで50cmの範囲を撮影する時間 約16秒)

☆寝台の幅が広く

装置の寝台の幅が以前より広くなりましたので、今まで以上に安心、安全に検査を受けていただけます。

☆被曝低減技術の搭載装置

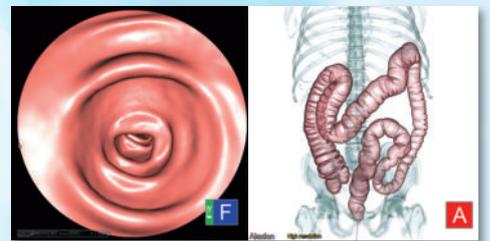
新たに更新したCT装置には、患者さまそれぞれの体格に合わせて照射するX線量が調整可能となり、被ばく低減に効果のある新しい画像処理の技術、さらに画質を低減させるノイズを低減させる機能が搭載されています。今までより少ないX線量で、従来以上の画質が得られるようになりました。



☆大腸CT（CTコロノグラフィー）の検査をスタート

大腸CTとは、内視鏡を使わずに肛門から炭酸ガス注入して大腸を膨らませた状態でCTを撮影し、大腸の中をコンピューター処理された画像で病変を見つける新しい検査法です。内視鏡検査よりも検査時間が短く（検査室に入ってから15~20分）、検査中の苦痛や検査後のお腹の張りも少ないと言われています。ただし、5ミリ以下のポリープや平らな病変を見つける能力は内視鏡検査に比べて劣っている、細胞の検査やポリープの切除などの治療はできないなどの短所もありますので、詳しい検査の内容は医師にご相談ください。

今後もCT利用者様へ診断のお役にたてる検査を行えるよう努めていきますので、よろしくお願いいたします。



体験レポート

慈啓会病院にて大腸CT検査を受けてみて 慈啓会特別養護老人ホーム 蝦名 真

今回、新たに慈啓会病院に導入された最新型CTで検査を受けることとなり、事前に検査の説明を受け検査食や下剤などを預かります。前日は専用の検査食を食します。これはなかなか食べやすく良かったですね。その後、粉末下剤を水で溶き、造影剤を足してゆっくり飲み終えます。下剤の反応は思ったよりも早く、就寝前に2回程度、就寝後は2~3回の排便がありました。

翌朝、病院へ向かう前には排泄物はきれいな状態で、カメラ検査のように病院に着いてから腸管洗浄剤を飲む労力や時間を考えると非常にスムーズです。

検査案内を受け、検査着に着替えたらすぐに検査開始。これも従来の検査に比べると時間がかからず良いですね。

そして検査開始。炭酸ガスを腸内に充填し膨らませようとして撮影を行うため、バルーンカテーテルを肛門に挿入しますが、腸内深くまで入るわけではないので安心です。専用の機械でガス注入開始。肛門からガスが抜けてしまわないように力をためつつ、膨満感と闘いました。

充填が終わったら撮影開始。仰向けで1回。うつ伏せで1回の撮影でしたが、うつ伏せ姿勢はガスが抜けそうだったのと、撮影のとき20秒間息を止めるのがちょっと困りましたが、あっという間に検査終了。カテーテルを抜けば炭酸ガスもスッと抜けていきました。

着替えた後、解析が終わった自分の腸内のCG映像を見せられました。綺麗に見える自分のバーチャルな腸内に感動です。

結果は今年も異常なく安心。事前準備や当日朝の準備も、検査自体も時間がかからず身体への負担も少ないこのCT検査。初めて検査を受けようとする人にも毎年受けている人にもお勧めです。



施設紹介

札幌市中央区 第3地域包括支援センター

当センターは開設3年目を迎え、山鼻・曙・幌西地区において高齢者の方々が住みなれた地域で安心して生活を続けられるよう、さまざまな地域活動や支援をしています。

ここで、3地区で行っている地域活動の一部をご紹介しますと思います。



山鼻地区では、職員が実演して作成した認知症予防体操のDVDを用いて、地域住民対象の研修会や意見交換会を開催したり、体験利用したい方に配布したりして、認知症予

防の普及・啓発活動に取り組んでいます。

曙地区では、町内会等と連携して「高齢者見守りサポーター」活動を発足し、スーパー・コンビニ・金融機関等に相談窓口カードの設置や状況が心配な高齢者が来られたときに連絡をお願いするなど地域ぐるみの見守りを展開しています。

幌西地区では、民生児童委員・居宅介護支援事業所の介護支援専門員と懇談会を開催して地域におけるネットワークを構築し、地区のニーズや課題に対し早期発見・早期対応を行ない、安心して暮らせる地域づくりの推進をしています。

なお、センターでは介護予防に関すること、高齢者虐待や消費者被害、介護保険サービスの利用についてなど相談支援を行っていますので、是非お問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先 011・205・0537)

施設紹介

軽費老人ホームB型 札幌市拓寿園

札幌市拓寿園は、60歳以上の身寄りがない又は家族との同居が困難で、かつ一定の所得に満たない方が対象となる自炊型の老人福祉施設です。

一昨年に行った大規模改修工事によって、屋根の無落雪化、風呂・トイレの改修、暖房器具の交換などを行い、一年を通じてより快適に過ごすことができます。又、職員3名（施設長、相談員、介護職員）及び、当直員の常駐によって、安心、安全な生活を送ることができます。

要介護認定を受けている方は、訪問介護やデイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら生活することができます。

拓寿園では、お花見、果物狩りツアー、夏祭り、敬老会、日帰り旅行などの行事を行い、入居者同士や職員との親睦を深めると同時に、健康歩こう会、介



護予防教室などの健康増進活動も積極的に取り入れ、たくさんの方の参加をいただいております。又、園に隣接している畑では、トマトやキュウリなどの野菜を収穫して楽しまれたり、門から玄関まで続く花壇は、皆さんで育てた花がきれいに咲き誇っております。

入居や見学を希望される方は、ぜひお問い合わせ下さい。お待ちしております。

(お問い合わせ先 011・772・2105)

●●● 慈啓会後援会からのお知らせ ●●●

活動は平成9年度から

後援会の設立当時は、超高齢化社会の時代を迎えており介護が必要な高齢者は急速に増加し、介護サービスの充実強化が強く求められておりました。慈啓会は、こうした時代の要請に応えるため、特別養護老人ホームの増改築や病院の改築、デイサービスセンターやヘルパーステーション等の事業に着手し、保健・医療・福祉の一体化した高齢者保健福祉の向上に努めることは勿論のこと、地域福祉、在宅福祉の拠点としての役割を担うべく取り組んでおります。

こうした福祉環境を支えるためにはより多くの方のご支援が必要とのことから、平成9年度に慈啓会グループを支える協力団体として、役員の方々が世話役となり数多くの方の賛同を得て会を設立して運営を続けております。

平成27年度総会報告

去る6月11日に定期総会が開かれ、平成26年度の決算と平成27年度の事業計画及び予算の審議、委員と役員の改選が行われましたので簡単にお知らせいたします。

①決算と予算

| 決算・予算 | 収 入(千円) | 支 出(千円) |
|----------|---------------|--------------|
| 平成26年度決算 | ・会費・寄附金 6,821 | ・事務事業費 684 |
| | ・雑収入 684 | ・法人繰入金 6,821 |
| | 計 7,505 | 計 7,505 |
| 平成27年度予算 | ・会費・寄附金 7,000 | ・事務事業費 850 |
| | ・雑収入 850 | ・法人繰入金 7,000 |
| | 計 7,850 | 計 7,850 |



②事業計画では、会員の募集、慈啓会への財政支援、広報紙の発行及びバス停側にハンギング植栽を予定しています。

③役員改選では、26名の委員の方に再任をお願いし、会長、副会長、監事の5名が選ばれ今後2年間役員としての職務をお願いすることになりました。

会の加入お願い

慈啓会の高齢者福祉事業が安定的に継続して皆様方のご要望に応じていくためには、後援会会員のご協力とご支援は欠かせません。後援会の目的にご賛同いただければどなたでも入会できます。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせは

社会福祉法人 札幌慈啓会 後援会事務局

〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号

TEL: 011-561-8291 FAX: 011-561-8298

若手職員 レポート



特別養護老人ホーム
札幌市稲寿園介護課
中川美奈恵

や、私がよく分からない事を、本当に一つひとつ丁寧に教えていただいたことがとても心に残り、ここで働きたいと強く思ったからでした。

さらに、実習の中で接した利用者様の素敵な笑顔に触れて、この笑顔をこれからも見ていきたい。この笑顔がどこから生まれてくるのか、その理由を利用者様と一緒に見つけていきたい。とも思いました。そして今、介護福祉士として稲寿園で働き始めてから早くも4年が経ちます。

これまで仕事を続けてきた中で、本当に人と関わるといふ事がこんなにも難しいものかということを知り、沢山思い出りましたが、その難しさの倍、沢山の利用者様と多くの時間を過ごし、また、色々な行事にも参加させていただいたことで、利用者様とともに楽しさや嬉しさを知り、共感することも出来たと思っています。

今後、更に難しく大変だと思ふような壁にぶつかる時もあるかもしれませんが、利用者様の笑顔を心に描きながら、他の職員ともしっかり協力し合っ、介護に携わっていきけるようにしていきたいと思っています。

理事長杯争奪スポーツ親睦大会開催

去る6月21日(日曜日)、慈啓会デイサービスセンターホールを会場に札幌慈啓会理事長杯争奪スポーツ親睦大会を開催しました。今年で27回目を迎えますが、法人内の7つの高齢者施設の入所者と職員が集り競技を通して楽しく体を動かし、他施設と交流を図ることを目的に行っています。

毎年、障害のある方も積極的に参加していただき、今年が入居者と職員を合わせると、例年と比べ少し多めの215人の参加となりました。その他にも、面会に見えたご家族も参加いただき一緒に楽しんでいました。競技は各施設対抗で、輪投げ・玉リング・

パン食い競争の3種目となっております。順位はそれぞれの参加人数や障がい状態も異なるため、輪投げ・玉リングは参加者の平均点で、パン食い競争では入居者のみなさんにも参加していただきますが、最後に行われた各施設長による施設対抗レースによって決まりました。今年も慈啓会特別養護老人ホームが優勝、準優勝は軽費老人ホーム札幌市菊寿園となりました。ここ数年は毎年優勝施設が変わる面白い戦いが繰り広げられています。特にパン食い競争は毎回大変な盛り上がりを見せますが、各施設職員と施設長のラスト2レースは、この日も会場内に最大の声援が飛び交いました。今年も怪我もなく参加者全員の笑顔あふれる大会で終わることができました。

(総合相談室 道林)



表紙題字揮毫：「共生」

長谷川白羊(はせがわはくよう)書。
昭和4年札幌市生まれ。本名・悦以(よしつぐ)。法政大学文学部卒。
昭和35年山口子羊に師事。平成2年「札幌と書」(札幌市教育委員)に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催(於 札幌大丸藤井セントラル)

広報誌「共生」 2015年7月 Vol.02

編集発行／社会福祉法人札幌慈啓会
[法人本部] 〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
(慈啓会特別養護老人ホーム1F)
TEL 011-561-8291 FAX 011-561-8298
<http://www.sapporojikeikai.or.jp>